

埼玉の造り手

Vol. 45

(株)あぶらび



蕨市の総合小売会社が開発した日本酒・ビール

蕨駅西口を歩いた住宅街にたずむ、文具や雑貨、食料品、酒類を取り扱う総合小売店。地元の農産物を使った商品の開発に力を入れている。純米吟醸「姫蕨」は、米の自然な甘さが程よく甘く、後味すっきり。日本酒好きな地元の女性にモニタリングして、開発した酒だ。純米吟醸の米本来の風味と、特有のクセがないので、幅広い食事に合わせやすい日本酒で、商品名も女性にちなんだネーミング。デザインで使用している葉っぱは、植物の「ひめわらび」。わらびは、山の中や自然環境の厳しい所に生育する植物で、厳しい環境の中でもたくましく、しなやかに育つわらびと、社会の中で頑張っている女性をイメージし、女性デザイナーがデザインしたシンプルラベル。女性の方の協力で出来上がった酒だ。

2023年度(第64回)全国推奨観光土産品審査会「全国観光土産品連盟会長賞グローバル部門」を受賞。



各種イベントにも積極的に出店 Instagramでイベント情報などを発信中



WARABLABURABI

県内の産物や資源を活用した独自の商品開発

さらに、昨年12月、埼玉県産米さけ武蔵を使用し、近隣の蕎麦店のお客様にモニタリングしてつくった純米酒「姫蕨721」(721は、あぶらびの住所)を販売開始。辛口で、蕎麦や和食に合う仕上がりがいい。熊のイラストがかわいい、アメリカンペールエールの「あなたに会えて」はアルコール度数5%で、柑橘系の風味としっかりとした苦みも味わえる。以上のオリジナル商品の開発はあぶらびで行い、製造は県内の醸造所に委託している。

最近は都内などのイベント出店も増え、埼玉や蕨のことを知っていただき、認知度を上げているので、今後も続けていきたいとのこと。「飲み方、食べ方等、さまざまな楽しみ方をさせていただき、日本酒の良さ、埼玉の良さを知るきっかけになるといいな」と語る田口社長。



「埼玉産産を主体にしていて、今後も地域をテーマにしたものを商品展開していきたい。そのためにも、農家さんなどの現地にいきたく、何か生み出せたらいいなと思っています」と話す田口社長
日本酒サバイブ研究会・酒匠研究会連合会(SJI) 吟酒師・焼酎吟酒師
日本ビール文化研究会 日本ビール検定3級



株式会社あぶらび
<https://aburabi.jp>



蕨市中央7-2-1 Tel 080-5497-8700 Email aburabi@wcv.jp
代表者 代表取締役 田口 智章 氏
創業 2015年 資本金 200万円
事業内容 文具、キャラクター雑貨、酒類などを取り扱う総合小売
営業日時 金曜日、土曜日、日曜日11:00 ~ 18:00
アクセス J R京浜東北線 蕨駅から徒歩15分
オンラインショップ <https://aburabi.official.ec>
※amazon、Yahoo!ショッピング



「純米吟醸 姫蕨」



「姫蕨721」



「あなたに会えて」

● 一般社団法人埼玉県産物観光協会の紹介

一般社団法人埼玉県産物観光協会は、日々新しく生まれる魅力的な県産品や生産者の思いを『SAITAMA BRAND』として発信し、多くの皆様を知っていただきたく、「埼玉県新商品 AWARD」を立ち上げました。埼玉県の生産者が技術と伝統、土地の恵みを生かして開発した素晴らしい商品をご覧ください。
<https://chocotabi-saitama.jp/award>



● 読者プレゼント実施中!

あぶらびの「純米吟醸 姫蕨」「姫蕨721」「あなたに会えて」をセット(各1本)にして1名様にプレゼントいたします。応募は、本コーナーの感想などを添えて、「企業名、所在地、役職・氏名、電話番号、アクセス埼玉2025年6月号あぶらびを希望」を記載の上、so-dan@saitama-jr.or.jp宛てメール、または、右の読者プレゼントの二次元コードから、6月27日(金)までに、ご応募ください。当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

